

【令和5年度事業の進め方について】

(1) まちづくりの方針や戦略プロジェクトの検討（継続）

「山形市中心市街地活性化戦略本部」より示されたまちづくり方針や戦略プロジェクトの課題・問題について、事業内容や実施手法等の検討を行う。

(2) やまがた街なか出店サポートセンター事業（継続）

新規出店希望者を支援し、空き店舗の解消を図るとともに中心市街地エリアに魅力的な店舗を出店させることにより、来街者の増加や回遊性・滞留性の向上を図る。

① 空き店舗・空き事務所の情報収集

不動産事業者や所有者と連携し、不動産情報の収集と新規開拓を行う。

② 新規出店予定者への情報提供及び相談

空き店舗や駐車場、中心市街地の商業トレンドなどの出店の参考となる情報を提供する。

③ 各種支援制度の紹介・事業計画作成支援

出店の際に活用可能な融資や補助制度などの支援制度を紹介するとともに、事業計画書の作成支援を行う。

④ 中心市街地エリア内の業種毎の収益状況調査・分析

商業トレンドの把握と業種業態毎の収益状況調査を実施する。

⑤ 出店しやすい家賃設定に向けた情報交換

家賃について、借り手と貸し手に乖離がみられる場合に、不動産事業者等を通じ、出店しやすい家賃設定に向けた情報交換を行う。

⑥ 出店者に対するフォローアップ

出店後の経営状況の把握を行うとともに、商工会議所経営指導員と連携し事業継続に向けたアドバイスを行う。

⑦ テナントリーシング事業の人材育成

- ・ 外部専門家の指導によるテナントリーシング実施に向けた人材育成
- ・ 出店意向のある企業をはじめとする山形市へ誘致したい企業との関係性の構築
※出店条件のヒアリング、情報の提供（物件情報、トピックス、支援制度など）
- ・ テナントリーシングに対する関係団体（不動産事業者、金融機関、商店街、商業施設）との情報交換

⑧ 企業訪問による誘致交渉や意見交換

人材育成で得たノウハウを基に企業訪問を行い、中心市街地への出店意向の確認と、出店条件についてヒアリングするとともに、空き店舗への誘致を実施する。

(3) 街なか情報発信事業（継続）

中心市街地エリアの魅力的な情報を積極的に発信することにより、来街者の増加や回遊性・滞留性の向上を図る。

近年は、SNS をきっかけに行きたいところ等を探す・調べる行動が目立つため、街なかの情報収集と SNS での情報発信を強化する。また、既存のサイトは街なかの情報収集をする際に有益な情報が得られるツールとなるよう情報量を充実していく。

〈主な取り組み〉

- ①新規出店情報や、街なかのイベント等のトピックスの積極的な投稿
- ②インスタグラムを活用したフォトコンテスト等のイベントの開催
- ③フェイスブックとの連携による幅広い年齢層への情報発信
- ④学生等と連携し、投稿数の増加を図れる仕組みでの情報発信

(4) 各種調査事業（継続）

より効果的な事業の実施に向け、中心市街地の現況把握のための各種調査を必要に応じて実施する。

〈主な調査〉

- ・ 駐車場調査
- ・ 業種構成調査
- ・ 市民アンケート調査
- ・ 歩行者通行量調査

(5) すずらん商店街における老朽建物の整備改善事業（継続）

すずらん商店街の地権者や街区周辺の地権者に対する意向調査の結果を基に、再整備等の実現可能性のある街区を中心に意欲を醸成していく。また、既存建築物のリノベーション等の手法についても情報提供を行っていく。

(6) かすみ公園周辺エリアにおける新たなまちづくり事業（継続）

改めて地権者の意向を確認し、事業化が進展するよう関係団体との調整を図っていく。

(7) DX推進事業（①：継続、②③：新規）

①新たな決済サービスの展開と地域電子マネー地域ポイントの推進

中心市街地エリアのキャッシュレス決済の普及により、店舗の業務効率化や、消費者の利便性の向上、さらには非接触型決済による感染症に強いまちづくりの推進を図る。

キャッシュレス決済端末モデル事業の結果を活用し情報提供するとともに、複数ある決済方法、決済端末の整理を行い、店舗及び消費者へ併せて提供することで、中心市街地全体でのキャッシュレス化を推進して行く。

②中心市街地における公衆無線LANの整備推進についての調査検討事業

公衆無線LANの拡充による中心市街地エリアにおける利便性の向上のため、公衆無線LANの整備について、エリア内の現状を含めた調査検討を行う。

③交通系ICカードとの連携について

5月より導入された地域版交通系ICカードの利用促進を図るため、関係団体と連携し、活用方法について検討していく。

(8) 中心市街地エリアにおける昼間交流人口増加の促進（継続）

中心市街地における昼間交流人口の増加のため、関係団体と連携し、街フェス等の回遊する仕組みづくりについて検討・実施し、集客と店舗認知度の向上を図る。また、滞留時間向上を促すことで消費行動に繋げ、休日や昼間営業の収益性を向上させることで、出店しやすい環境や昼間営業店舗の増加を促す。

(9) ウォーカブル推進支援事業（継続）

山形市が「ウォーカブル推進都市」として、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりを推進するにあたり、人々が憩い、集い、多様な活動を繰り広げられる場づくりを行っていることに併せ、来街者の回遊性・滞留性の向上を図るための官民連携をはじめとした各種事業に対して支援を行う。

また、今年度の実証的に実施している山形駅前大通りテラス化事業の効果検証の結果については、内容を踏まえたうえで今後の駅前大通りでの再開発事業があった場合の提案に際し活用していくとともに、来年度以降のテラス化の実施については商店街等のニーズを確認のうえ今後の実施の可能性について関係団体と検討していく。

(10) コミュニティサイクル等の交通手段を利用した回遊性向上への取組（新規）

10月より開始された電動アシスト付自転車を活用したシェアサイクル事業の周知を図るとともに、他事業との連携による回遊性向上の取組について検討していく。

(11) 将来的な街づくり会社設立に向けた収益確保検討事業（継続）

今後、エリアマネジメント協議会の事業や、民間事業者の施設整備事業の進捗に合わせ、法人化の在り方について検討を進める。